

篠川事務所の”ホット”通信

2018年1月号

税理士・中小企業診断士 篠川徹太郎事務所

〒226-0003

神奈川県横浜市緑区鴨居 3-1-9-201

電話：045-530-3727 F A X：045-530-3728

<http://shinokawa-office.com>

mail@shinokawa-office.com



ホットな話題をほっとするような分かりやすさでお伝えする”ホット”通信・・・Vol. 41 をお届けします。

明けましておめでとうございます。新春の企業アンケートでは今年に景気が良くなると予想した企業は 8 割を超えているとのことです。そんな時こそしっかりと足元を固めてゆきたいものですね。

【事業承継税制が利用しやすくなりました】

平成二十九年度の税制改正で、事業承継税制（非上場株式に関する贈与税・相続税の納税猶予制度）の見直しがありました。今回の改正では「雇用要件の見直し」と「生前贈与の税制優遇強化」がポイントになります。

これまで事業承継税制の適用を受けるには、従業員数を5年平均で80%維持する必要がありました。しかし、小規模な企業では従業員が4〜5人のところも珍しくありません。



例えば4人の従業員が3人になれば75%になってしまいます。昨今の深刻な人手不足の状況下で、特に小規模な企業が従業員数を維持することは大変難しく、事業承継税制の適用は高いハードルでした。そこで今回の改正では、小規模な企業でも事業承継税制を活用しやすくなるように、従業員5人以下の場合は1人減っても適用ができるようになりました。また従来は贈与税の納税猶予の適用を受けていても、その猶予期間中に雇用などの要件を満たせなくなると適用は取り消され、高額な贈与税を支払う必要がありました。が、今回の改正で相続時精算課税制度との併用が認められるようになりました。相続時精算課税は贈与額のうち最大2500万円までを控除でき、控除額を超えた場合も超えた金額の20%の贈与税を納めればよいので、贈与税納税猶予が取り消しになった場合の負担が軽減されることとなります。

【シニア世代の健康寿命を支える「大人用の粉ミルク」が話題！】

森永乳業などが大人向けに開発した大人用の粉ミルクが話題を呼んでいます。以前から健康維持や栄養補給を目的に乳幼児用の粉ミルクを飲む大人がいましたが、脂質やカロリーが高く特に高齢者には栄養過多が懸念されていました。大人用として商品化された粉ミルクは、不足しがちなミネラルやビタミンなどを追加し食事と併用することで最適な栄養バランスとなるようです。甘い郷愁を誘う粉ミルクが、シニア世代の健康寿命を支える元氣と活力の源となりそうです。



今月の教えてキーワード：【サブスクリプションモデル】

提供する商品の数ではなく、利用期間に対して対価を支払う方式のこと。月額制や年額制などの料金モデルがこれにあたる。音楽の配信サービスにおいて、1曲ごと

に販売・課金するのではなく毎月、定額料金を払えば期間内はいくらでも自由に音楽を楽しめるサービスが代表的な事例となる。

Adobe、Microsoftなどのソフトウェア企業でもサブスクリプション型の導入が増えており、次世代のビジネスモデルとして注目を集めている。

【商売はケ・セラ・セラ】

ヒッチコック監督のサスペンス映画『知りすぎていた男』では、ドリス・デイの歌う『ケ・セラ・セラ』が物語のラストに向けた重要な糸口になっていました。「大きくなったらきれいになれる？ お金持ちになれる？」そう尋ねる女の子にママや学校の先生は言います。「ケ・セラ・セラ、なるようになる」。大人になると恋人にも聞きます。「幸せな未来が待っているの？」。恋人の答えも「ケ・セラ・セラ」。彼女が子どもを授かると、今度は子どもが尋ねます。「私はきれいになれる？」。「ケ・セラ・セラ、先のことなんて分からない、なるようになるわ」。小気味よいストーリーも巧みですが『ケ・セラ・セラ』はそれ以上の印象を残して映画は幕を閉じます。



「一休さん」の愛称で親しまれた一休和尚は遺言状を書いてこの世を去りましたが「大きな問題が起こるまで決して読むな」と言い残したそうです。弟子の僧侶たちは教えを守り、遺言状が開封されたのは一休和尚の死からしばらく経ってからのこと。大きな問題に直面していた僧侶たちがすすがる思いで開いた遺言状には、こう書かれていたそうです。「なるようになる。心配するな」とんち好きだった一休和尚らしい逸話です。

「なるようになる」といえば、沖縄の方言の「なんくるないさあ」が思い出されます。「なるようになる」とか「なんとかなる」という意味で知られていますが、沖縄の人に言わせると、生きていく辛さの中から生まれた深くて力強い言葉だそうです。ままたまならぬ世の中でも私たちは生きていかななくてはなりません。でも、誠実に真剣に生きていけばきっとうまくいく。それを信じる気持ちが「なんくるないさあ」なのでしょう。時代の変化のスピードは加速度を増し、商売のやり方も人の考え方も変わってきました。「今しかない」といいますが、本当になんとかできるのは、まさに「今の自分」のことだけでしょう。

商売に正解はありません。うまくいかないときも「なるようになる」の精神で、今の自分にできることに集中したいものですね。

勝ちあり
負けなし
負けなし
負けなし

今を生きる！

先人の言葉

江戸時代の平戸藩主である松浦静山の言葉。たまたま運が良くても、その逆はない。失敗や敗北の裏には、必ずその原因が潜んでいるものだ。

【アフター・ビットコイン】

今や新聞ネタにならない日がないほど注目を集める仮想通貨について、比較的保守的な立場からの論評です。サトシ・ナカモトという人物の2008年の論文から異形のものへと進化を遂げている仮想通貨、その将来はまだ誰も見通すことは出来ません。

